

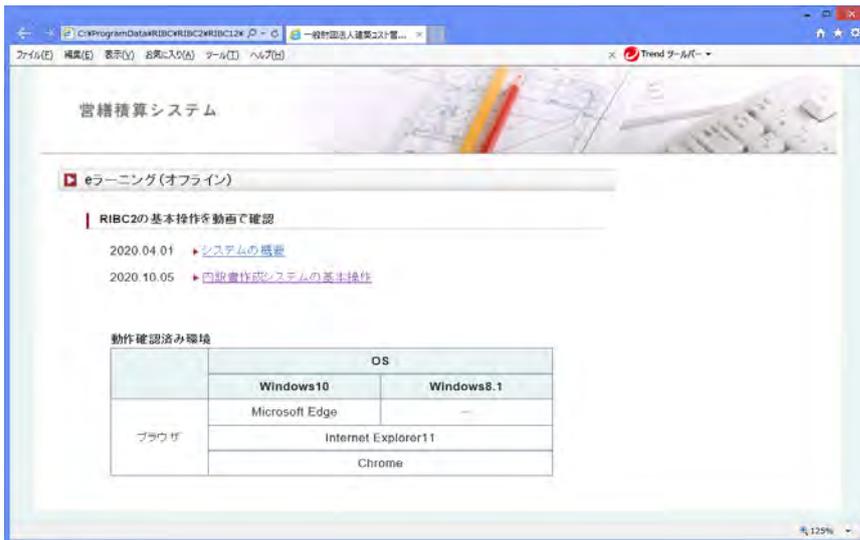
営繕積算システム RIBC2 の主な変更点 (Ver.9.10 から Ver.9.20)

【標準単価作成システム】【内訳書作成システム】

1. eラーニング(操作説明)をオフラインで再生できる機能追加

RIBC2 をインストールしているパソコンがインターネットに接続できないオフライン環境でも、操作説明動画を別途インストールすることにより、オフラインで HP の「eラーニング」と同様の操作説明動画を再生することができるようになりました。

《インターネットに接続できないオフライン環境》



《インターネットに接続できるオンライン環境》



注：操作説明動画を別途インストールすると、インターネットに接続できるオンライン環境でも、オフライン環境の動画が再生されます。

【内訳書作成システム】

2. 別紙明細番号(別紙 XXXX)を振り直し機能の変更設計対応

当該設計で新規に登録した別紙明細に対して、一つ前の設計で登録済みの別紙明細の別紙明細番号の最大番号に「+1」した番号から別紙明細番号を振り直す機能を追加しました。

共通費の算定方法
● 率による算定 (率に含まれないものは積み上げによる) (B) ○ 専門工事業者からの見積りを参考に計上(I) ○ この内訳書では共通費を算定しない(N)

別紙明細番号
○ 別紙 XX-XXXX(E)
● 別紙 XXXX(D)
○ 別紙 XXXX(D)

前回設計までで取り止めた単価
● 表示(S)
○ 非表示(A)

科目比率
○ 表示する(Y)
● 表示しない(H)

出来高率
● XX%(L)
○ XX.XX%(J)

OK キャンセル

3. 代価表見出し画面の並び替え機能を追加

「細目別・別紙明細」画面の並び順に「代価表見出し」画面を並び替える機能を追加しました。

※ オプションで、「代価表番号を代価表見出し画面の並び順に振り直す」と「内訳書で使用されていない代価表をすべて削除」も一緒におこなうこともできます。

【子代価】:説明の都合上、代価表の内訳で参照されている代価表を以下「子代価」という。

内訳書(細目別・別紙明細)画面の並び順に代価表見出し画面を並べ替える

内訳書(細目別・別紙明細)画面の並び順に代価表見出し画面を並べ替えます。
並べ替えのパターンを選択してください。

例) 並び替え前

代価表 (並び替え前)	
分類ア	
代価い	代価表0001 (代価えを参照)
代価あ	代価表0002
その他	
分類イ	
代価え	代価表0003 (※子代価)
代価う	代価表0004 (代価こを参照)
代価せ	代価表0017 (未使用代価)
代価こ	代価表0016 (子代価)
分類フ	
代価す	代価表0013 (未使用代価)
代価せ	代価表0014 (未使用代価)
分類工	
代価か	代価表0005
代価き	代価表0006
代価お	代価表0007
分類才	
代価け	代価表0008
代価く	代価表0009 (代価さを参照)
代価そ	代価表0010 (未使用代価)
代価さ	代価表0012 (子代価)

並び替えのパターン

○ パターン①
● パターン②
○ パターン③
○ パターン④

パターン②について

例) 並び替え後 (*1)(*2)(*3)

代価表 (並び替え後 パターン②)	
分類ア	
その他	
代価あ	代価表0001
代価い	代価表0002 (代価えを参照)
代価う	代価表0003 (代価こを参照)
代価え	代価表0004 (※子代価)
代価お	代価表0005
代価か	代価表0006
代価き	代価表0007
代価く	代価表0008 (代価さを参照)
代価け	代価表0009
代価こ	代価表0010 (子代価)
代価さ	代価表0011 (子代価)
分類イ	
分類フ	
分類工	
分類才	

内訳書で使用されている代価表の並び順

内訳書で使用されている代価表の並び順	
科目 A	
代価あ	代価表0001
代価い	代価表0002 (代価えを参照)
代価う	代価表0003 (代価こを参照)
別紙明細	別紙00-0001
代価え	代価表0004 (※子代価)
計(別紙1)	
科目 B	
代価お	代価表0005
別紙明細	別紙00-0002
代価か	代価表0006
計(別紙1)	
代価き	代価表0007
計	
科目 C	
代価く	代価表0008 (代価さを参照)
代価け	代価表0009
計	

■ オプション

代価表番号を代価表見出し画面の並び順に振り直す(D)
 内訳書で使用されていない代価表をすべて削除(N)

実行(E) キャンセル(C)

加えて、変更設計時に、当該設計で「新規に登録した代価表」と「使用されていない代価表」の代価表番号を振り直す機能を追加しました。(一つ前の設計で使用されている代価表の最大番号に「+1」した番号から代価表番号を振り直します。)

パターン①

- イ) 限りなく「細目別・別紙明細」画面の並びに近づくように、すべての代価表を「その他」の代価表分類に移動して並び替えをおこなう。
- ロ) 子代価が含まれている場合は、子代価を参照している代価表の直下に子代価が並ぶように並び替えをおこなう。

内訳書(細目別・別紙明細)画面の並び順に代価表見出し画面を並べ替える

内訳書(細目別・別紙明細)画面の並び順に代価表見出し画面を並べ替えます。
並べ替えのパターンを選択してください。

例) 並べ替え前

代価表 (並び替え前)		
分類ア		
代価い	代価表0001	(代価を参照)
代価あ	代価表0002	
その他		
分類イ		
代価え	代価表0003	(※子代価)
代価う	代価表0004	(代価を参照)
代価し	代価表0017	(未使用代価)
代価こ	代価表0016	(子代価)
分類ウ		
代価す	代価表0013	(未使用代価)
代価せ	代価表0014	(未使用代価)
分類エ		
代価か	代価表0005	
代価き	代価表0006	
代価お	代価表0007	
分類オ		
代価け	代価表0008	
代価く	代価表0009	(代価を参照)
代価そ	代価表0010	(未使用代価)
代価ざ	代価表0012	(子代価)

並び替えのパターン

パターン①

パターン②

パターン③

パターン④

[パターンについて](#)

例) 並べ替え後 (*1)(*2)(*3)

代価表 (並び替え後 パターン①)		
分類ア		
その他		
代価あ	代価表0002	
代価い	代価表0001	(代価を参照)
代価え	代価表0003	(※子代価)
代価う	代価表0004	(代価を参照)
代価こ	代価表0016	(子代価)
代価お	代価表0007	
代価か	代価表0005	
代価き	代価表0006	
代価く	代価表0009	(代価を参照)
代価ざ	代価表0012	(子代価)
代価け	代価表0008	
代価し	代価表0017	(未使用代価)
代価す	代価表0013	(未使用代価)
代価せ	代価表0014	(未使用代価)
代価そ	代価表0010	(未使用代価)
分類イ		
分類ウ		
分類エ		
分類オ		

内訳書で使用されている 代価表の並び順		
科目 A		
代価あ	代価表0002	
代価い	代価表0001	(代価を参照)
代価う	代価表0004	(代価を参照)
別紙明細	別紙00-0001	
代価え	代価表0003	(※子代価)
計(別紙1)		
科目 B		
代価お	代価表0007	
別紙明細	別紙00-0002	
代価か	代価表0005	
計(別紙1)		
代価き	代価表0006	
計		
科目 C		
代価く	代価表0009	(代価を参照)
代価け	代価表0008	
計		

■オプション

代価表番号を代価表見出し画面の並び順で振り直す(D)

内訳書で使用されていない代価表をすべて削除(N)

実行(E) キャンセル(C)

パターン②

- イ) 限りなく「細目別・別紙明細」画面の並びに近づくように、すべての代価表を「その他」の代価表分類に移動して並び替えをおこなう。
- ロ) 子代価が含まれている場合は、「細目別・別紙明細」画面に登録されている代価表を優先して並び替えをおこない、次に子代価の並び替えをおこなう。

内訳書(細目別・別紙明細)画面の並び順に代価表見出し画面を並べ替える

内訳書(細目別・別紙明細)画面の並び順に代価表見出し画面を並べ替えます。
並べ替えのパターンを選択してください。

例) 並べ替え前

代価表 (並び替え前)		
分類ア		
代価い	代価表0001	(代価を参照)
代価あ	代価表0002	
その他		
分類イ		
代価え	代価表0003	(※子代価)
代価う	代価表0004	(代価を参照)
代価し	代価表0017	(未使用代価)
代価こ	代価表0016	(子代価)
分類ウ		
代価す	代価表0013	(未使用代価)
代価せ	代価表0014	(未使用代価)
分類エ		
代価か	代価表0005	
代価き	代価表0006	
代価お	代価表0007	
分類オ		
代価け	代価表0008	
代価く	代価表0009	(代価を参照)
代価そ	代価表0010	(未使用代価)
代価ざ	代価表0012	(子代価)

並び替えのパターン

パターン①

パターン②

パターン③

パターン④

[パターンについて](#)

例) 並べ替え後 (*1)(*2)(*3)

代価表 (並び替え後 パターン②)		
分類ア		
その他		
代価あ	代価表0002	
代価い	代価表0001	(代価を参照)
代価う	代価表0004	(代価を参照)
代価え	代価表0003	(※子代価)
代価お	代価表0007	
代価か	代価表0005	
代価き	代価表0006	
代価く	代価表0009	(代価を参照)
代価け	代価表0008	
代価こ	代価表0016	(子代価)
代価ざ	代価表0012	(子代価)
代価し	代価表0017	(未使用代価)
代価す	代価表0013	(未使用代価)
代価せ	代価表0014	(未使用代価)
代価そ	代価表0010	(未使用代価)
分類イ		
分類ウ		
分類エ		
分類オ		

内訳書で使用されている 代価表の並び順		
科目 A		
代価あ	代価表0001	
代価い	代価表0002	(代価を参照)
代価う	代価表0004	(代価を参照)
別紙明細	別紙00-0001	
代価え	代価表0003	(※子代価)
計(別紙1)		
科目 B		
代価お	代価表0011	
別紙明細	別紙00-0002	
代価か	代価表0009	
計(別紙1)		
代価き	代価表0010	
計		
科目 C		
代価く	代価表0013	(代価を参照)
代価け	代価表0012	
計		

■オプション

代価表番号を代価表見出し画面の並び順で振り直す(D)

内訳書で使用されていない代価表をすべて削除(N)

実行(E) キャンセル(C)

パターン③

- イ) 代価表分類を優先しつつ「細目別・別紙明細」画面の並びに、代価表の並び替えをおこなう。
- ロ) 子代価が含まれている場合は、子代価を参照している代価表の直下に子代価が並ぶように並び替えをおこなう。(ただし、参照元の代価表と子代価の代価表分類が異なっている場合は、代価表分類を優先する。)

内訳書(細目別・別紙明細)画面の並び順に代価表見出し画面を並べ替える

内訳書(細目別・別紙明細)画面の並び順に代価表見出し画面を並べ替えます。
並べ替えのパターンを選択してください。

例) 並べ替え前

代価表 (並び替え前)		
分類ア		
代価い	代価表0001	(代価えを参照)
代価あ	代価表0002	
その他		
分類イ		
代価え	代価表0003	(※子代価)
代価う	代価表0004	(代価こを参照)
代価し	代価表0017	(未使用代価)
代価こ	代価表0016	(子代価)
分類ウ		
代価す	代価表0013	(未使用代価)
代価せ	代価表0014	(未使用代価)
分類エ		
代価か	代価表0005	
代価き	代価表0006	
代価お	代価表0007	
分類オ		
代価け	代価表0008	
代価く	代価表0009	(代価さを参照)
代価そ	代価表0010	(未使用代価)
代価さ	代価表0012	(子代価)

並び替えのパターン

パターン①

パターン②

パターン③

パターン④

[パターンについて](#)

例) 並べ替え後 (*1)(*2)(*3)

代価表 (並び替え後 パターン③)		
分類ア		
代価あ	代価表0002	
代価い	代価表0001	(代価えを参照)
その他		
分類イ		
代価え	代価表0003	(※子代価)
代価う	代価表0004	(代価こを参照)
代価こ	代価表0016	(子代価)
代価し	代価表0017	(未使用代価)
分類ウ		
代価す	代価表0013	(未使用代価)
代価せ	代価表0014	(未使用代価)
分類エ		
代価お	代価表0007	
代価か	代価表0005	
代価き	代価表0006	
分類オ		
代価く	代価表0009	(代価さを参照)
代価さ	代価表0012	(子代価)
代価け	代価表0008	
代価そ	代価表0010	(未使用代価)

■オプション

代価表番号を代価表見出し画面の並び順で振り直す(D)

内訳書で使用されていない代価表をすべて削除(N)

実行(E) キャンセル(C)

パターン④

- イ) 代価表分類を優先しつつ「細目別・別紙明細」画面の並びに、代価表の並び替えをおこなう。
- ロ) 子代価が含まれている場合は、代価表分類を優先しつつ「細目別・別紙明細」画面に登録されている代価表を優先して並び替えをおこない、次に子代価の並び替えをおこなう。(ただし、参照元の代価表と子代価の代価表分類が異なっている場合は、代価表分類を優先する。)

内訳書(細目別・別紙明細)画面の並び順に代価表見出し画面を並べ替える

内訳書(細目別・別紙明細)画面の並び順に代価表見出し画面を並べ替えます。
並べ替えのパターンを選択してください。

例) 並べ替え前

代価表 (並び替え前)		
分類ア		
代価い	代価表0001	(代価えを参照)
代価あ	代価表0002	
その他		
分類イ		
代価え	代価表0003	(※子代価)
代価う	代価表0004	(代価こを参照)
代価し	代価表0017	(未使用代価)
代価こ	代価表0016	(子代価)
分類ウ		
代価す	代価表0013	(未使用代価)
代価せ	代価表0014	(未使用代価)
分類エ		
代価か	代価表0005	
代価き	代価表0006	
代価お	代価表0007	
分類オ		
代価け	代価表0008	
代価く	代価表0009	(代価さを参照)
代価そ	代価表0010	(未使用代価)
代価さ	代価表0012	(子代価)

並び替えのパターン

パターン①

パターン②

パターン③

パターン④

[パターンについて](#)

例) 並べ替え後 (*1)(*2)(*3)

代価表 (並び替え後 パターン④)		
分類ア		
代価あ	代価表0002	
代価い	代価表0001	(代価えを参照)
その他		
分類イ		
代価え	代価表0003	(※子代価)
代価う	代価表0004	(代価こを参照)
代価こ	代価表0016	(子代価)
代価し	代価表0017	(未使用代価)
分類ウ		
代価す	代価表0013	(未使用代価)
代価せ	代価表0014	(未使用代価)
分類エ		
代価お	代価表0007	
代価か	代価表0005	
代価き	代価表0006	
分類オ		
代価く	代価表0009	(代価さを参照)
代価さ	代価表0012	(子代価)
代価け	代価表0008	
代価そ	代価表0010	(未使用代価)

■オプション

代価表番号を代価表見出し画面の並び順で振り直す(D)

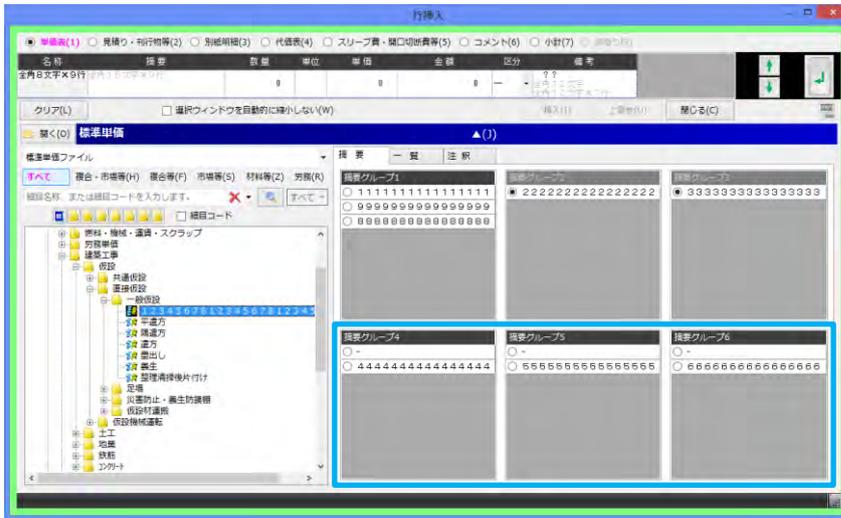
内訳書で使用されていない代価表をすべて削除(N)

実行(E) キャンセル(C)

4. 単価表の摘要名称の表示行数の拡張

単価表の摘要名称が3行に収まらない場合、3行から6行に拡張して、摘要グループ1～摘要グループ6のすべての摘要名称を表示できるようにしました。

【例】



Ver.9.10 まで（摘要グループ4～摘要グループ6の摘要名称が非表示）



Ver.9.20 から（摘要グループ4～摘要グループ6の摘要名称も表示）



5. 感染拡大防止対策費用について(工事費内訳書作成[例])の「工事の一時中止に伴う増加費用」対応

国土交通省が HP で公開している、「感染拡大防止対策費用について(工事費内訳書作成[例])」の『感染拡大防止対策費用の内訳書への計上について(例示【その2】)』に示されている、「工事の一時中止に伴う増加費用」を計上する機能を追加しました。

注：Ver.9.20 で「工事の一時中止に伴う増加費用」を計上した内訳書ファイルは、Ver.9.10 では開くことはできません。

参考資料-2 感染拡大防止対策費用について(工事費内訳書作成[例])

国土交通省

感染拡大防止対策費用の内訳書への計上について(例示【その2】)
 (※工事一時中止を実施し、工事を再開するまでに感染拡大防止対策を実施した場合の計上方法)

① 工事の一時中止期間に実施する「感染拡大防止対策」は「工事の一時中止に伴う増加費用」には含まず、区別して計上する。
 ② 「工事一時中止増加費用」は基本計画書により、「感染拡大防止対策費」は実施計画書により、それぞれ作成し、必要な数量・費用の根拠を見積書・領収書などにより確認する。(工事中の基本計画書と感染対策の実施計画書を分けて作成しておくこと。)
 ③ それぞれに要した費用を内訳書に振り分けて計上する。
 ④ 「工事一時中止増加費用」には請負比率を乗じる。「感染拡大防止対策費」には請負比率を乗じない。

工事費内訳			
名称	数量	単位	金額(円)
直接工事費			
建築工事	1	式	30,000,000
共通費			
共通仮設費	1	式	1,200,000
現場管理費	1	式	2,300,000
工事の一時中止に伴う増加費用	1	式	3,170,000
一般管理費等	1	式	1,840,000
計			8,510,000
合計			38,510,000
請負比率			
$\frac{180,000,000}{195,000,000} \times 38,510,000$	1	式	35,540,000
感染拡大防止対策費	1	式	60,000
工事価格	1	式	35,600,000
消費税相当額	1	式	3,560,000
工事費	1	式	39,160,000

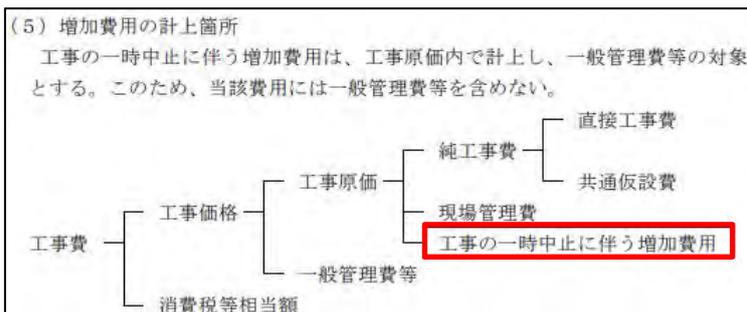
※工事一時中止を実施し、工事を再開するまでの間に感染拡大防止対策を実施した場合の「工事の一時中止に伴う増加費用」を現場管理費の積み上げとして計上する。(ここには「感染拡大防止対策費」は含まない。)

※外書きにより「感染拡大防止対策費」として計上する。

工事の一時中止に伴う増加費用 + 感染拡大防止対策費用 集計表			
品名	数量	単価	金額
現場事務所費 (リース費、光熱水費含む)	4.0	120,000	480,000
仮囲いリース費	4.0	20,000	80,000
機械器具費	1.0	50,000	50,000
現場代理人 給料手当	4.0	456,000	1,824,000
監理技術者 給料手当	1.0	634,000	634,000
通信交通費	1.0	102,000	102,000
計			3,170,000
感染拡大防止対策費用			
衛生用品購入費 (マスク、消毒液等)	1	15,000	15,000
消毒作業費	1	45,000	45,000
計			60,000

工事費				【細目別内訳書】負担金(課税)			
名称	数量	単位	金額	名称	数量	単位	金額
建築工事	1	式	458,885,823	現場管理費(概上位)	1	式	0
電気設備工事	1	式	11,521,359	計			0
機械設備工事	1	式	27,714,849	工事の一時中止に伴う増加費用	1	式	0
計			498,122,130	現場事務所費 (リース費、光熱水費含む)	4	月	0
共通費				仮囲いリース費	4	月	0
共通仮設費	1	式	15,079,507	機械器具費	1	月	0
現場管理費	1	式	43,218,169	現場代理人 給料手当	4	月	0
工事の一時中止に伴う増加費用	1	式	3,170,000	監理技術者 給料手当	1	月	0
一般管理費等	1	式	1,840,000	通信交通費	1	式	0
計			129,177,870	計(細目)			0
			129,177,870	一般管理費等(概上位)	1	式	0
				計			0

【参考】『公共建築工事積算基準等資料』より



なお、『感染拡大防止対策費用の内訳書への計上について（例示【その1】）』の「感染拡大防止対策費用」については、「負担金」の機能を利用して計上することが可能です。

参考資料-1 感染拡大防止対策費用について(工事費内訳書作成例) 国土交通省

感染拡大防止対策費用の内訳書への計上について(例示【その1】)
 (※工事を継続しながら感染拡大防止対策を実施した場合の計上方法)

工事費内訳			
名 称	数量	単位	金額(円)
直接工事費			
建築工事	1	式	30,000,000
計			30,000,000
共通費			
共通仮設費	1	式	1,200,000
現場管理費	1	式	2,300,000
一般管理費等	1	式	1,840,000
計			5,340,000
合計			35,340,000
請負比率			
$\frac{180,000,000}{195,000,000} \times 35,340,000$	1	式	32,620,000
感染拡大防止対策費	1	式	365,000
工事価格	1	式	32,985,000
消費税相当額	1	式	3,298,500
工事費	1	式	36,283,500

①変更設計図書に「感染拡大防止対策」を実施する旨が記載される。
 ②詳細内容は「実施計画書」により、対策に必要な数量・費用の根拠を見積書・領収書などにより確認する。(実施計画書内で費用の集計表を作成するとおおい。)
 ③「感染拡大防止対策」に要した費用の合計額を内訳書に計上する。(直接工事費、共通費には含めず、外書きとする。)
 ④当該費用には請負比率を乗じない。

感染拡大防止対策費用 集計表			
名 称	数量	金額(円)	備 考
衛生用品購入費 (マスク、消毒液等)	1	45,000	実施計画書による。
消毒作業費	1	65,000	実施計画書による。
遠隔機器リース費	1	105,000	実施計画書による。
感染防止間仕切設置	1	150,000	実施計画書による。 (現場管理費・一般管理費等含む)
計		365,000	感染拡大防止対策のための工事を行い、現場管理費及び一般管理費等が必要となる場合はその費用が含まれる。
合計		365,000	円(消費税含まず)

The screenshot shows the software interface for managing construction costs. The main window displays a list of items with columns for name, quantity, unit, and amount. A red box highlights the '感染拡大防止対策費' (Infection Prevention Measures Fee) entry. A secondary window shows a detailed breakdown of this fee, listing items like '衛生用品購入費' (Sanitary用品 purchase), '消毒作業費' (Disinfection work), and '遠隔機器リース費' (Remote equipment rental), each with its own quantity, unit, and amount. The '感染拡大防止対策費' is shown as a total of 365,000 yen.

6. 内訳書の印刷機能から出力する PDF ファイルの文字のコピー・編集制限

内訳書の印刷機能から PDF ファイルを出力する際に、「単価・金額」の情報が含まれている場合は、文字のコピーや編集が出来ないようにしました。

The screenshot shows the '印刷' (Print) dialog box. Under the '印刷書式設定(E)' (Print Style Settings) section, the '単価・金額(I)' (Unit Price/Amount) checkbox is checked and highlighted with a red box. Other options like '数量(S)' (Quantity), 'コード(H)' (Code), and '備考2(W)' (Remarks 2) are also checked. The 'PDF(D)' button is highlighted with a red box at the bottom.